

7/29

神秘的な宇宙のお話

市

制施行70周年を記念して、「第2回心に残る講演会」を市民会館で開催しました。

講師に、映画化された小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトマネージャーで宇宙工学者の川口淳一郎さんをお迎えし、「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、その7年間の歩み」と題して講演いただきました。

会場には、夏休みを利用して来場した宇宙に興味を持つ子どもたちも多数見受けられ、川口さんの貴重な体験に基づく、神秘的な宇宙の話に耳を傾けていました。

「第2回心に残る講演会」川口淳一郎氏講演会



7/31

沿線地域の発展に向けて共同宣言

九

九州新幹線西九州ルート沿線5市長(武雄・嬉野・大村・諫早・長崎市)が一堂に会し、「第5回新幹線沿線5市サミット」が長崎市で開催されました。

サミットでは、沿線5市長が「九州新幹線西九州ルートの開業までに取り組むこと」をテーマにパネルディスカッションを行い、10年後の各市の都市像やその取り組みについて意見交換を行いました。

サミットの最後には、沿線地域の発展に向けて、共に連携、協力することを再確認する共同宣言を5市長が手を取り合って行いました。

第5回新幹線沿線5市サミット・シンポジウム



8/1

大村メガソーラー建設開始

九

九州電力の子会社キューデン・エコワルが、九州電力大村火力発電所跡地(寿古町)に設置する「大村メガソーラー発電所」の安全祈願祭を現地で行いました。

起工式には、同社の伊崎社長や小野副市長、県や市の関係者など約30人が出席し、工事の安全を祈願しました。

同発電所の発電規模は出力13.5メガワットで、九州最大級です。大村湾沿いの約20万㎡の敷地面積に2つの発電所を整備し、平成25年5月頃から一般家庭約9,700世帯が昼間に使う電力を賄う予定です。

「大村メガソーラー発電所」安全祈願祭



8/6~8

市民の皆さんの意見を取り入れながら

公

募委員や学識経験者などで構成される外部評価委員会(山口純哉委員長)による公開評価を市コミセンで実施しました。

市ではこれまで、市が行う行政サービスに対して内部で評価を行なっていました。これに加えて市民の視点に立った評価を行う「外部評価」を取り入れられました。

外部評価は委員の皆さんが施策を担当する部局に対して行い、その様子を市民の皆さんにも公開しました。今回は3日間で10事業が評価され、傍聴に来られた市民の前で改善改革策が検証されました。

行政評価外部評価公開



8/11

長崎空港でPR活動を展開

空

港に降り立ち、ふるさとに帰省される皆さんを対象に「ふるさとづくり寄附キャンペーン」を長崎空港で実施しました。

これは県と市が共同で行なったもので、「ふるさとづくり寄附」のチラシや申込書などを、大村のPRも兼ねてラスタットキヤクターおむらんちゃんも参加して配布しました。

この制度は、平成20年から始まり、これまで約1,689万円の寄附金をいただいています。ふるさとを想う皆さまからいただいた寄附金は、市の貴重なまちづくりの財源として活用させていただきます。

ふるさとづくり寄附キャンペーン

